

温室効果ガス観測技術衛星「いぶき(GOSAT)」による地球温暖化問題解決に向けた取り組みの推進

(1) 事業の概要

2009年1月に打上げられた世界初の温室効果ガス観測技術衛星「いぶき(GOSAT)」について、同年2月の米国NASAの同種衛星の打上げ失敗もあり、現在世界中の関心、期待が集まりつつあることから、「いぶき」のデータ解析機能、国際交流活動等を強化することで、世界各国の地球温暖化問題解決への取り組みの推進に資するとともに、その中核的機能を果たす。

(2) 事業計画

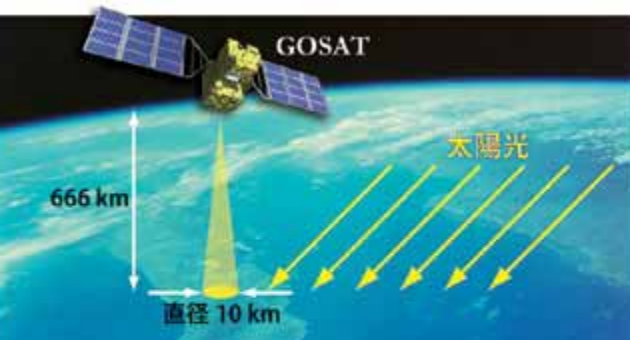
- GOSAT データ処理・運用設備の機能強化
国立環境研究所に設置されたGOSATのデータ解析/検索/提供機能等を強化し、国内のみならず世界各国の研究者のニーズに応えられる体制等を整備する。
- GOSAT データ地上検証用機器の追加導入
衛星データの精度検証等に使用される地上観測機器を追加導入し、米国衛星との比較をせずとも高い精度のデータを提供できる体制等を整備する。
- 国内外の研究者との交流促進
「いぶき」データを利用する世界各国の研究者との交流を促進し、衛星データ利用による地球温暖化研究の中核的機能を果たす。

(3) 事業実施主体 独立行政法人国立環境研究所

(4) 予算額 1,104百万円

温室効果ガス観測技術衛星「いぶき (GOSAT)」による 地球温暖化問題解決に向けた取り組みの推進 1,104百万円

2009年1月に打上げられた世界初の温室効果ガス観測技術衛星「いぶき (GOSAT)」について、同年2月の米国NASAの同種衛星の打上げ失敗もあり、現在世界中の関心、期待が集まりつつあることから、「いぶき」のデータ解析機能、国際交流活動等を強化することで、世界各国の地球温暖化問題解決への取り組みの推進に資するとともに、その中核的機能を果たす。



- GOSATデータ処理・運用設備の機能強化
国立環境研究所に設置されたGOSATのデータ解析/検索/提供機能等を強化し、国内外の研究者のニーズに応えられる体制等を強化。
- GOSATデータ地上検証用機器の追加導入
衛星データの精度検証等に米国衛星を使用することができなくなったことから、地上観測機器を追加導入し、高い精度のデータを提供できる体制等を整備。
- 国内外の研究者との交流促進
「いぶき」データを利用する世界各国の研究者との交流を促進し、衛星データ利用による地球温暖化研究の中核的機能を果たす。